



カルテルに捕まって
約半年

「ハwもう既に
限界って顔だな
美琴ちゃん♡」

「どうだ？
二週間イカされず
強化剤だけ全身に
塗り込まれた感想はw」

「ううう」

「今まで散々
おまんこ訓練で
イキ癖付けてたからなw
体中が疼いて
仕方ねえだろw」

「あゝ」

コレ…ヤツバい♡
ちよつと触っただけでも
いつちやいそう♡

こんなカラダにして
何する気なの？
コイツら…♡

「じゃーんw
特別ゲストの登場ですw」

「今日は美琴ちゃんに
紹介したい奴がいてさw」

「うーん」

強化剤

人体のあらゆる機能を自在に増幅、強化できる薬品。
調合の度合いによっては、女性の性感機能のみを
増幅させる、等の使い方も出来る。



『どうしてここにやね〜だろww
お前がセックスに夢中になってる間
必死に探し回ってたらしいぜ?w』

『レ〜レント先輩?!
どうしてここに?』

「まあw二人で
ヨに來たのが運の
尽きだったみたい
だがなw」

「み…美琴お…
『弱化剤…?』
そんな…先輩?」

「折角久々のご対面だw
今日はお前から警官2人に
見せてもらおうと思ってるな」
「相棒 同士の
絆ってやつをよw」

「ひゃあああああ」



「ルールは簡単
美琴ちゃんと俺らの」

「イカせ合い勝負w」

「自分がイク前に
こん中の二人でも先にイかせられたら
お前ら2人まとめて解放してやるよw」

ギョッ



「レント先輩—と？」

「大好きな相棒の為にも
今まで学んだシンボの扱い方
存分にレントセンパイに見せてやりなw」

ギョッ

「レントセンパイのこと
大好きだった
もんなあ美琴ちゃんw
そいつと逃げ帰って
2人で幸せになりなw」

「ただし負ければ
美琴ちゃん
「生俺らのモンなw」

勝てば帰れる…

ピン

…っそうじゃない！
今は拘束されたレント先輩を
助けることを考えない！

『だっ…大丈夫ですレント先輩
私…こんな下衆な奴らに…
相棒の先輩の前で
負けるわけないのでっ!!』

『だから先輩安心して下さいっ
二人でここを脱出しましょうっ…』
2人で安全に逃げるには…

早くコイツらを
イカせないと…♡♡

「まだまんこ直で
触つてないのに随分余裕
なさそうだねw
そんなんじやイカせ合い勝負
勝てないよw」

「ブハハwオラどうしたw
そんなんじや射精しねえぞw」



「そんな美琴ちゃんには
ムンデあげるね♡」

カニヤン

??

「じゃーんw
特製」

「絶対阻害器」
アクメジャマール♡

対象、上志波 美琴。
絶頂の抑制を開始
します。

ー??

ん?

??

ん?

???

「今までのおまんこ訓練で
AIが学習した脳波に干渉して
絶頂寸前で止めてくれる
優れものだぜw」

「流石に1週間絶対頂禁止されてた
チヨロマン美琴ちゃんには
不利すぎる戦いだっတာからなw」

「レントパイセンも
これで負けちゃあ
可哀想だしねw」

「それじゃWイカせ合い対決
後半戦スタートw」

うす...

うす...

何でー?
さっきまでイカせ
ようとしてたのに

こんなの...



「だったら何すればいいか
理解してるよなあ？」
マゾメス美琴ちゃん♡」

「はっ♡♡♡わっ私い
上志波美琴
警部補はあ♡」

「イカせ合い対決でえ
強化男性様に
完全敗北いたしましたあ♡
本日付で
強化警察を辞職しい」

「強化男性様専属のお♡
オナベ隊員に志願いたしますう♡♡」

「ブハハ元同僚の前で情けねえw」

「いぞ美琴♡まずは強化チンポに
誓いのマン媚びキッス10回だ♡」

「はっ！」

「強化男性の皆様あ♡♡先ほどはあ
雑魚まんこがイキってしまい
申し訳ございませんでしたあ♡」

「これからあ♡立場を弁えてっ♡
強化おちゃんほ様には♡♡

絶対服従させていただきますっ♡
雑魚マン婦警に♡強化チンポで
アクメをお恵みお願いいたしますひゅ♡

「ゲハハ何度見ても面白えw
雑魚メスの
敗北宣言付きマン媚びキスw」

「よく出来たな美琴w
お望み通り1週間ふりの
アクメ解禁してやるからなw」

対象、上志波 美琴の
絶頂を許可します。

「あっ…ありがたき
幸せえ♡♡」

「レントセンパイ
ガン見してるぞw」

「自分で挿れろ
美琴w」

「はっ♡」

「強化ちゃんぽお♡お恵み下しやりい♡♡
ありがとうっ♡♡♡いっまっ♡♡」

ドク
ドク
ドク
ポオオ
ドク

「強化剤で潮もド派手に吹くようになったね美琴ちゃんw」

「ブハハwまだ途中までしか入ってねえぞバカメスw」

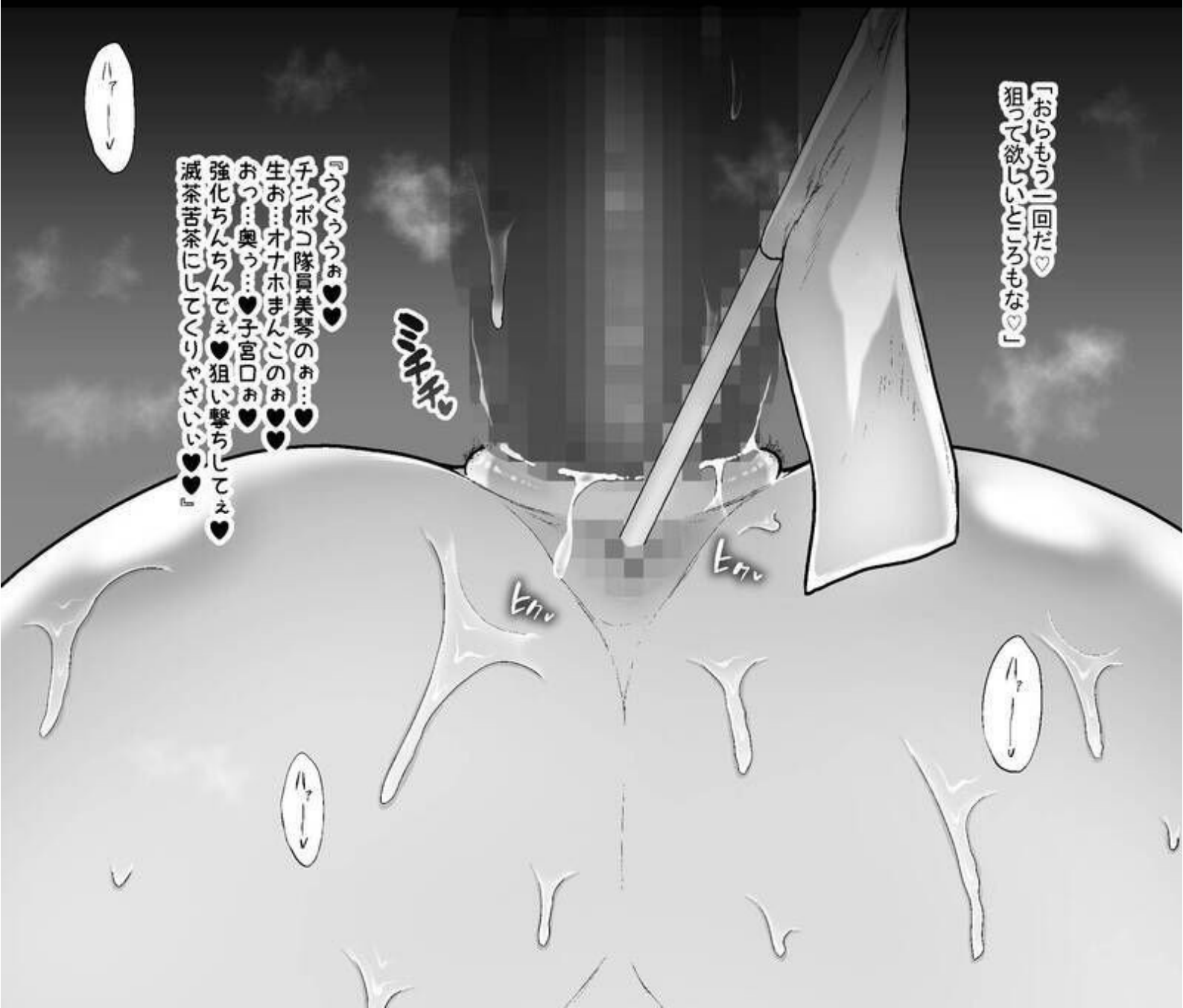
ゴッゴッ
ジュルジュル



「まあまあ良いチン媚び具合だったぞ美琴♡
お望み通りこれからは俺らカルテルの
チンボコ隊員として飼ってやるからなw」

「ただし少しでも使えなかったら
あの元同僚処分すつから♡
精々レントセンパイの為にも気合入れて
チンボに媚びろよ?」

「おっ♡理解りまひたああ♡
お情けをかけていただき♡
ありがとう♡ございまひゅう♡
チンボコ隊員としてえ♡
がんばりまひゅう♡♡♡」



「おらもう一回だ♡
狙って欲しいところもな♡」

「うぐううあ♡♡
チンボコ隊員美琴のお♡
生お♡オナホまんこのお♡
おっ♡奥う♡子宮口お♡
強化ちゃんんでえ♡狙い撃ちしてえ♡
滅茶苦茶にしてくりやさい♡♡♡」

「おっ♡」

「おっ♡」

「おっ♡」

「おっ♡」

「おっ♡」

「おっし♡上出来だ美琴♡」

おっし♡
おっし♡
おっし♡

おっし♡
おっし♡
おっし♡

おっし♡

おっし♡

おっし♡

おっし♡

おっし♡

「へへw久々にポルチオボコされて
嬉しいね♡美琴ちゃん♡」

「レントバイセンじゃ
こんなセックス
出来なそうだしなあw」

「良かったね
美琴ちゃんw警察辞めて
俺らのチンボコ隊員になれてw」

「はいいい♡♡嬉しいれすう♡
強化男性様に♡
まんこ使ってたただてえ♡
しあわせですうう♡♡」

おっし♡

おっし♡

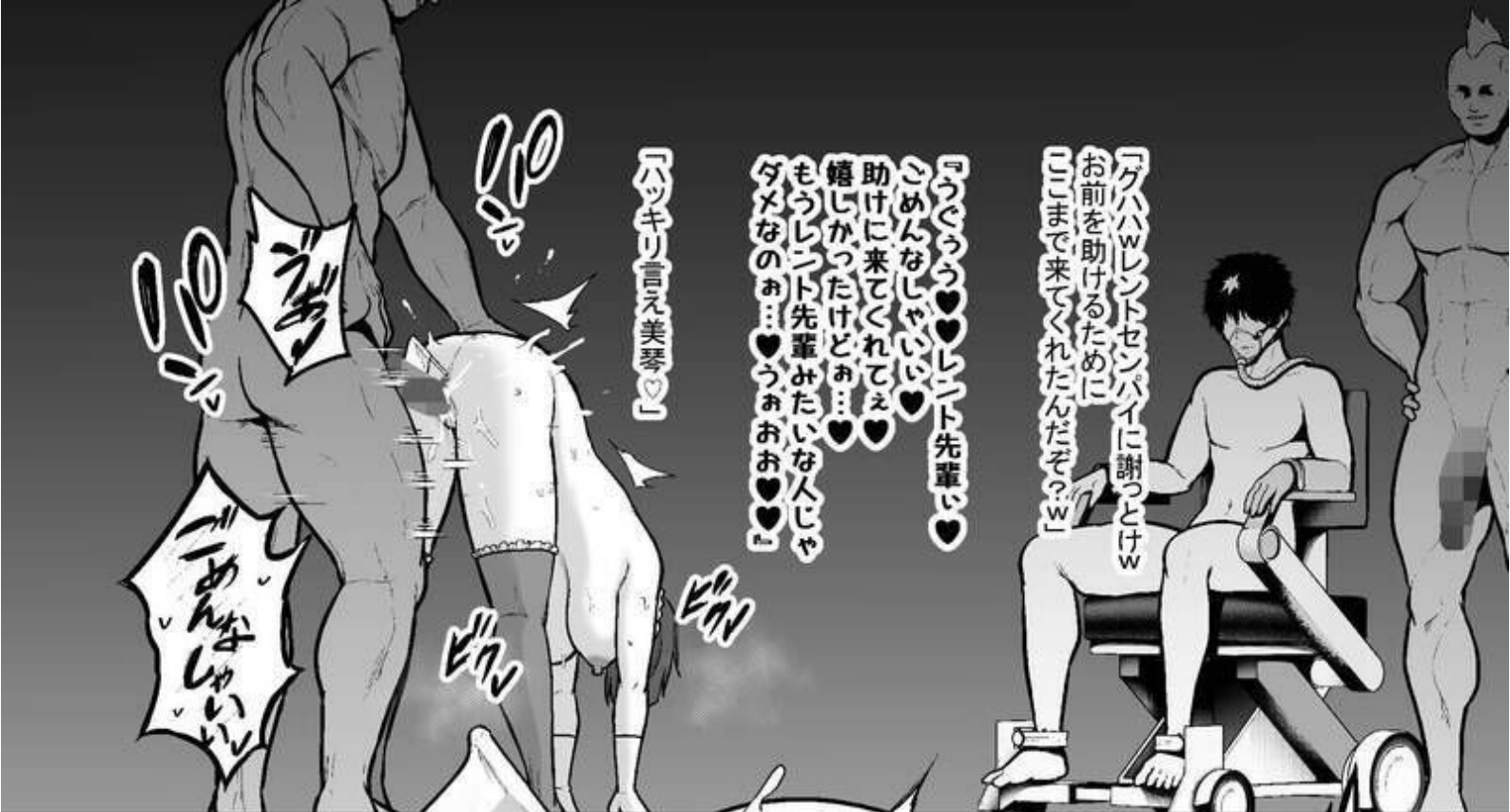
おっし♡

おっし♡

おっし♡

おっし♡

おっし♡



「ゲハハレントセンパイに謝っけw
お前を助けるために
ここまで来てくれたんだぞ?w」

「うぐうう♥レント先輩い♥
ごめんなしやいい♥
助けに来てくれてえ♥
嬉しかったけどお♥
もうレント先輩みたいな人じゃ
ダメなのお♥うああお♥」

「ハッキリ言え美琴♥」



「おちんぽき
ちゅちゅのイヤなのぞ」

「おひゃ
おあ〜」

「ゲハハだったよw
レントパイセンw」

「ふう」
いい締め付け具合だったぞオナホ
これからは今まで以上に
俺らのチンポ絞るための訓練
みっちりしてやるからなw

ごめんなさい
レント先輩…
でも…私い♡

「ああとそこの粗チン男の管理は
お前がやれよ？」
お前が使えるうちは
死なねえ程度に飼ってやるからよw

「聞いてんのか？豚あ!!
ザーメン垂れ流してねえで返事しろ」

「はい♡♡これからもお♡
おまんこで奉仕させて頂きまひゅのれえ♡
よろしくおねがいたしまひゅう♡♡」

強化男性様に負かされて
でっかいおちんぼ
ぶっこまれるのー

大好きに
されっっちゃったあ♡♡